



発行所
 全国曹洞宗青年会
 〒105 東京都港区2-5-2
 曹洞宗宗務庁内
 発行責任者 木南 広峰
 TEL 03-3454-5411(9)
 振込 東京9 701868

全国僧侶のエネルギーを結集しよう
 社会的価値ある活動をしよう
 青年僧侶の自覚を促そう
 地域における活動の連携を深めよう

全国曹青花まつり キャンペーン実施

全国曹洞宗青年会 理事会評議員会 開催される

去る二月十七日理事会評議員会が本庁に於いて開催された。席上今期の事業としての「花まつりキャンペーン」に関する討議が行われ以下のように決定した。全国に約一万軒の加盟店を持つ社団法人全国生花商協会とタイアップし「花まつり」を一般に対して積極的にアピールする。具体的方法としては全曹青作成のポスター、カードを配布、メッセージカードには花まつりの意味を分かりやすく簡潔に記し、花を供え、贈る方への心のこもった言葉を書き入れられるようにする。大勢の人がポスターに目をやり、メッセージカードを手にする事により、一人でも多くの人が「花まつり」の意味を知り、美しい花を求め、心のこもった花をみ仏に供え、多くの人々に花を贈る、そんな四月八日に行き事によって人々の心の花を美しく開花させ、人間が本来の仏にかえり、更に地球に平和な花の美が生まれるように、そんな趣旨の下に運動を展開して行く。

今何故花まつりか？

全曹青の基本課題である「大衆教化の接点を求めて」という理念を受けて第九期では「生きるための仏教、生きる支えとしての仏教」を打ち出し「弔事としての仏教法要」から「慶事としての仏教法要」を考えていく方針になった。



評議員会

昨今の新宗教ブームの中で、その社会的分析に於いて伝統仏教の形骸化などという言葉をよく目にする。おおむね、その後、日本の伝統仏教は葬式仏教になってしまった為に若者の不安に対応できなくなり、若者は新宗教に走ってしまったという図式が展開される。これが、更にくだけた論評になると「近頃の坊主はやれ戒名料だ供養料だと金儲けに走り、日頃はベントンに乗りカラオケ、ゴルフ三昧やっている」となってくる。しかし、若者の寺離れやオカルト新宗教指向の問題は核家族を始めとした「家」の問題、民法も含めた社会制度の問題など総合的にみるべき問題で一人伝統仏教の墮落などと批判すれば済む問題ではあるまい。又、果たして葬式仏教イコール墮落と言えらるのだろうか？葬式仏教と非難される内容としては、葬送儀礼としての社会慣習に甘え葬式や法事などの儀式ばかり重要視するようになり、結局それに付随する経済活動が中心となり生きていく人間に対する対応が留守になるという先の坊主批判と同じ論調を帯びてくる。

目次

花まつりキャンペーン……………(1)
 事務局だより……………(2)
 全国仏青活動報告……………(3)
 寺院コンピュータ報告……………(4)

か！我々にとって葬儀が果たして死者のみを問題にしているのかと言え、答は否である。一般に人は人の死の場面に会って始めて人生の終わりを意識する事が多い。そして人の生の終わりに臨んで自己の生の在り方を見つめ直すきっかけとなる。我々は葬儀や法事の場に当たり亡き人を供養すると共に残った人々への布教を行っている訳である。人生の終焉に当たり己の生き方を真摯に見つめ直すという生きている人々を前にして仏教徒としての生き方を説く。これほど重要な布教の場はあるまい。しかも、その場所は慣習という形で社会制度によって保証されているのである。

それでは何故、今、全曹青として「弔事としての仏教法要」から「慶事としての仏教法要」の運動を起さなければならぬのか？と言う問題につながっていく。我々青年僧侶は、先ず、その前提として宗門の布教師である。そして布教の場として自分の寺があり檀信徒がいる訳であり「弔事としての仏教」による布教活動は行っているのである。その活動は各個人の自覚と個性のもと地域性を帯び加味しながら展開されるべき色彩を帯びているのではないだろうか。現に各地域の青年会活動の中で布教法話集の発行などを通して法事や葬儀の場に於ける布教活動の実践に対しての積極的アプローチも行われている。それは大変有意義な活動であり全曹青としても応援してゆくべきものである。しかし、全国に会員数千名を持つ団体であり加えて、そのスローガンに「青年僧侶のエネルギーを結集しよう」を掲げる集団である全曹青としては、この集団でしか為し得ない活動を考

えていかなければなるまい。そこで今期の活動の中心課題となる「慶事としての仏教法要」の問題である。先に述べたように弔事における布教活動は個人若しくは地域レベルで展開されているが、慶事における活動はなかなか展開されにくい部分が多い。それは全曹青としては何をすべきかと言う問題になる。今期の活動としては「花まつり」を先ず考えたい。「花まつりであれば、それぞれの寺や地域で展開してはいないか？」と言う声もある。しかし現時点において「花まつり」がどれほど社会的に浸透しているであろうか？特にこれからの社会を担う若者や子供に対してどれだけアピールしているだろうか？確かに全曹青が「花まつり」キャンペーンを行ったから即社会的に承認されると言う具合にはいかない。しかし、仏教者が一つの集団として結束して社会に対して働きかけること自体有意義な事ではないだろうか。一般の声としてクリスマスと花まつりを比較して問題とされる事がある。ただこの場合、元々キリスト教徒の宗教行事であったクリスマスが、何故この様に多くの人に受け入れられたのかと言う部分を考えなければならぬ。その発端は確かに宗教行事であった筈だが、それを社会行事にしたのは流通業界である。色々なものを売る為に宗教行事をある意味では利用している訳である。敬虔なキリスト教徒にとつては、無意味なお祭り騒ぎとして迷惑しているかもしれない。バレンタインも同様であろう。しかし今、全曹青として展開しようとしている企画はあくまでも宗教者の手による布教活動である。全国的に運動を展開して行くためには、ある業種と結びついて動く事もあるかもしれない。「何も業者のお先棒を担ぐ必要はない」という活動は地道に続けていくべきものであってお祭り騒ぎでイベントを打つ

お詫び
 曹青通信の発行が遅れましたことを心よりお詫び申し上げます。
 以後、正常に発行していく様に努力します。
 何卒皆様の御協力をお願い申し上げます。
 広報委員長 中山義紹九拜

も仕様が「ない」といった批判も出てくるかもしれない。無論、地道な活動に対して応援、協力すべき部分に関してはそれを惜しまない。しかし全国に会員を持つ大きな集団でなければできないこともある筈だ。必ずしも我々が望むような結果は出ないかも知れない。実行方法に関しては、これからの議論を重ねなければならぬ。今、日本に於いては老若男女を問わず、生きる支えとして宗教を求めている人の数は決して少なくない。そして時代は仏教者に対して、何らかの答えを要求している。何も行動をなさなければ何も生まれない花まつり！釈尊の誕生を祝う日、そして我々がこの世界に生かされている喜びを感じ、それに感謝する日。その事をより多くの人々に説くところから生きるための仏教、生きる支えとしての仏教を語る事が出来るようになればと考える。会員皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。
 尚、具体的な事業に関しては、後日の会議の結果、社団法人日本生花商協会の協力のもとに全国「花まつり」キャンペーンとして展開して行く事に決定しました。皆様の御協力を心よりお願いします。

年 頭 挨 拶



全国曹洞宗青年会

会長 木 南 広 峰

昨年度中は、全曹青に対して絶大なる御支援、御協力を賜りまして、本当に有難う御座居りました。

はからずも会長の重職を拝命致しましたものの、浅学非才な私では『恰も蚊子の鉄牛を咬む』が如きもので有ります。本年も、より一層の心強い応援の程、何卒宜しく御願ひ申し上げます。

先般『達摩はなぜ東に行ったか』という映画が公開され、一部ではかなり話題になったようですが、ある意味でこの映画のタイトルは、私共禅門の僧侶が、常に考えなければならない課題であるように思われます。同じ意味の「如何なるか祖師西來の意」と言う問答が、様々な機会に交わされますが、一人一人が、より主体的な立場で、その答えを模索し続ける事が、重要なのではないのでしょうか。

就任以来、各地方大会にお招き戴き出席させて頂きました。そしてそこで多くの先輩諸兄や法友と語り合う機会を得ました。各管区それぞれの事情を伺いながら、それぞれの特色を十二分に活かした『社会的価値ある活動』としての大会運営を、企画実行された各曹青の努力と精進に、深い感銘を覚えたと同時に、全曹青はかくも有能な人材の集合体である事に驚異すら感じました。この会員一人一人の『大衆教化の接点を求めて』行く姿勢こそ、先術の仏教者としての主体的立場を確立し『青年僧侶の自覚を促す』大きな活力となるのではないのでしょうか。

各大会に出席させて頂き、先輩法友と語り合い、全曹青の役割と今後の事業運営の大きい指針を賜わったように思います。

全曹青は責任をもって、その機会を造ります。有能な会員諸兄は、十二分にこの機会を活用して戴きたい。
平成四年が、会員諸兄の積極的教化活動により、輝かしい一歩を記さん事を祈念して、年頭の御挨拶に替えさせて頂きます。

組織委員長 朝日 耕道



洞門歴代祖師の御教えは非常に示唆に富んだもので有ります。その示唆を私共が教化活動に活かす方法は色々有ると思えます。達摩大師が嵩山少林寺で面壁座禪されたように、深山幽谷にあって、己の修行の姿を示すもの、布教化の一環だと思えます。しかし現代社会の中で私共が仏教者としての役割を果たして行くには、時としては、法界定印を解き跏趺坐した足を解いて、社会に飛び込んで活動する事も、必要な状況がやってきているようにも思われます。

全曹青は既に第七期『なら博参画』と言う形で、社会の中に有って、社会と共に布教化すると言う活動経験をしています。本年全曹青はこの経験を活かし、『花まつりキャンペーン』を実施致します。従来より秋降降誕会である花まつりに対しては『街に出よう花まつり運動』及び『花まつりカード』の作製等、色々な努力を重ねて参りましたが、今一つ成果をあげられず今日に至っています。その原因の一つは、何時も「自分達の力だけで成功させよう」と言う姿勢に有ったと思います。今回のこの企画は、全国に約一万の加盟店を持つ、社団法人日本生花商協会と協同して行います。つまり、営利目的をもった生花商協会と、布教目的をもった全曹青が協同で『花まつりキャンペーン』を展開しようと言うものなのです。まず四月八日にあわせて生花商協会が、メッセージカード付き花束の販売をします。花束を贈り、受け取る中で「何故四月八日が花まつりなのか」と疑問が生じた時、その意味を教えてください。そして歴代祖師の御教えを説いて下さい。

第八期伊藤道宣会長は、四十歳未満の全青年宗侶は、宗費と共に青年会費を収め、青年会活動を全青年宗侶の必修活動」を目標に掲げ全曹青加盟を進めてまいりました。しかし現状は、単位曹青の連結で有ります。ならば第九期は将来宗門の教化活動の全てを担う青年会組織になるべく、各会員相互の自覚と連結ならびに相互教化の組織づくりを目指して行きたいと思えます。第八期に行われた実務者会議やソフトボールといった行事も、引き続き行きたいと思えます。

今年の七月末に大阪曹青は、三重県で「子供禅の集い」をおこないました。他の地区へ出掛けて行くと言うことは、会場を決め下見をし、打ち合わせをして、と大変な事でありました。その地区の曹青と連絡をとる事で協力していただけるなら、円滑な活動を行えるものであります。そんな時会員相互の信頼の下に、会員名簿も役立てて戴きたいと思えます。これは、組織力の一部で有りますが、その為にも名簿の充実と一人でも多くの会員を募りたいもので有ります。「全曹青」と言う組織力をもっと利用して頂き、今後御意見、御指導を賜り、第九期組織委員長を努めさせて頂きたく御協力を心よりお願い申し上げます。

平成四年度

全曹青総会の御案内

平成四年五月十三日(水) 友引

会 場 宗 務 庁

一 時 理 事 会

一 時 半 評 議 員 会

二 時 半 総 会

四 時 禅の集い中央研修会

五 時 半 懇 親 会

平成四年五月十四日(木)

会 場 研 修 道 場

八 時 半 各 委 員 会

十 時 半 事 務 局 会

※ 「禅の集い中央研修会」の講師等の詳しい内容につきましては、次号にて、お知らせ致します。

◇ 日程等につきまして、当日多少の変更があるやもしれません。

◎ 大勢の出席をお願い致します。

〈総会・懇親会費 壹万円〉

全日仏青活動報告

全曹青が加盟している全日本仏教青年会(全日仏青)の、平成三年度の活動が平成三年六月より全曹青と機を同じくして始まった。ここにその活動の概要を報告いたします。

定期理事会

平成三年六月二十一日

於 増上寺

事務局より年間の事業報告がなされた後、各担当理事より、各事業の活動内容反省点、及び次年度の方針の発表がなされた。そして会計より平成二年度歳入歳出決算報告が行われ、続いて監査報告があり、全員で承認された。その後岸野亮淳新理事長(浄土宗西山禅林寺派)から、平成三年度新役員発表があり、全日仏青組織図の説明があった。それによれば各委員会を統括する「室」は、全部で五つ。

研修室

環境問題委員会
問題啓発委員会

救済室

葬儀問題委員会
国際救済委員会

通常事業室

国内救済委員会
大会実行委員会
会報委員会

渉外室

国際担当委員会
WFBY出向

財務室

これに監事・事務局が加わっての組織である。続いて岸野新理事長より、運営方針案に基づき、基調、実践と説明があり特に、全日仏青を内外にアピールする広報活動の展開、及び、会員相互の理解の手段として「ニュースレター」の隔月発行を目指すということが、その骨子として強調された。そして会計より平成三年度歳入歳出予算案に基づき、一般会計、特別会計の予算案が提示され、運営方針案共々、全員挙手のもとに承認された。その他として、平成三年度もネパールのヨード欠乏症救済活動を継続していくこと、雲仙普賢岳噴火に伴う島原救済についての件、またバングラデシュ、ブツダ・ジェーバ、パリシャッドから日本招聘状の発行依頼があった旨の報告、駒大仏教経済研究所の「檀家に対するアンケート」調査協力依頼等が報告された。

第一回臨時理事会

平成三年七月二十四日

於 永観堂禅林寺

平成三年度各委員会事業計画報告
環境問題委員会
寺院活動に関わる環境問題のアンケートを実施し、その結果から、当会で取り組める環境問題を考えていきたい。特にゴミ問題に焦点をあて、「ゴミに関するアピール」が出来ないか、また日常のゴミ問題を仏教思想とあわせて考えていく。問題啓発委員会
脳死問題を講師を呼んだり、或いは加盟団体とタイアップして研究していきたい。

救済(国内・国際)委員会

募金箱が沢山残っているため、それを配布して、その募金を国内・国際の救済に使用できるようにしていく。メインはネパール・ヨード欠乏症(国際)と島原救済(国内)だが、これからどうするかは救済の室会議で煮詰めていきたい。なお基金を設けることで、緊急な事柄にも対応出来るように考えている。
会報委員会
全日仏青を内外にアピールする広報活動を展開したいという岸野理事長の方針に基づき加盟団体や役員、その他関係各位の充実した原稿をもって機関紙「全日仏青」を発行していきたい。
大会実行委員会
大会については比叡山延暦寺で開催できるように準備を進めている。
渉外
全日仏青のPRの為にパンフレットを作成して配布していく予定。
国際担当委員会
韓国仏青が来日の予定があるのでその対応を考えたい。バングラデシュのピク・トレーニングセンター建設の援助については、現地調査の後、検討したい。
WFBY
インドシナ三国の仏青の有無を調べ未結成ならば、結成促進を働きかけたい。
財務室
財源確保の為、加盟負担金の値上げ、個人会費の導入、托鉢、バザー等の案。以上の様に報告があった後、検討に入り白熱した議論の後に承認された。

第二回臨時理事会

平成三年九月三十日

於 大須観音

島原救済活動報告
国会へ提出する予定という内容の島原救済活動の署名運動についての報告があった。それによれば、この署名運動については「声明分」だけでは不十分と考えられたので、事務局側の決断により「島原、生き残り」と復興対策協議会」の署名運動に協力することにしたという経緯が述べられた。これからは義援金等島原救済活動は、事務局の特別事業として行なわれることになった。
各室、各委員会の活動について
環境問題委員会
引続いて寺院活動に関わる環境問題の検討が行なわれている。
問題啓発委員会
脳死問題を中心に研究会が持たれる。
十一月に検討会の予定。
国際救済委員会
ヨード欠乏症対策として募金箱が千五百あるの必要数を知らせてほしい。
国内救済委員会
特定の施設への救済が行われてきたが緊急の救済活動が実施できる為のシステムと、収集方法の確立を検討していきたい。
会報委員会
機関紙「全日仏青」の説明があったが、体裁等については当委員会へ一任。また広告については財務・事務局と相談の上、早目に各加盟団体へお願いをしたい。
大会実行委員会
大会について様々なアイデアを出して検討中である。比叡山だけでなく、他会場での仏教音楽(声明など)イベントも行いたい。他宗教(神道・キリスト教)との交流も行いたい旨の報告があった。平成四年四月二十六日(仏教青年の日)は千僧法要の記念日として、南都二六会奈良曹青などと協議して何らかの形を表したい。

第三回臨時理事会

平成三年十一月二十一日

於 増上寺会館

機関紙「全日仏青」の遅れについて
発行が遅れているのは事務局からの依頼の遅れの為に、賛助広告依頼が遅れているからである。この遅れの為に、時候の挨拶等原稿で不都合な箇所が生じるであろうから訂正されるよう執筆者より希望があった。さらに駒大アンケート、湾岸協力托鉢、ネパール救済、島原救済の記事も掲載されるよう希望があった。
比叡山大会について
会場となる比叡山延暦寺に正式依頼。理事長、事務局、天台仏青役員、天台宗および延暦寺役員と守山市で準備会を開催。現在、研修室事業(環境問題)脳死臓器移植問題(葬儀問題)の集大成をはかることが提案されている。その他に、大会中に発表希望の委員会があれば、次回理事会までに申し出るようになった。この研修室事業を大会において集大成するために、各委員会は各自セミナーなどの研修を、年間行事計画にして実施していく。
なお大会の三本柱として (一)法要、シンポジウム、懇親会、(二)国際交流(他の宗教の人々を含めて)、(三)比叡山以外でのイベントを考えている。このうち(一)は大会担当の天台仏青が中心になって実施していく。(二)については全日仏青活動を広くアピールすることにおくのか、あるいは救済事業を関連つけたチャリティ事業にするのか等、実施するか否かを含めて詰めていくことになった。
大会の名称については回数表示をするか否かを含めて今後検討していく。
大会実行委員会には、全仏青側からは理事以上の全役員が就任する。天台仏青側役員は後日報告される。
島原救済活動について
平成三年十月二十七日をもって「島原生き残り」と復興対策協議会」署名運動は一応終了することにした。
各委員会活動報告
脳死問題については平成三年十月十四日にセミナーを開催した。葬儀問題はアンケート内容を検討中。国内救済は救済活動の基本問題を検討中。

「禅へのいざない」曹青会員価格のお知らせ

●専用振替用紙で前金の御注文の場合に限り1セット9,000円にて頒布致します。振替用紙は大東出版社まで御請求下さい。
振替口座 名古屋 3-53719 曹洞宗青年会出版部
●尚その際、荷造費・送料として1回のお申し込みにつき、1律400円申し受けます。本広告掲載の他の書籍と一緒に御注文いただいても、送料合計は400円です。

- 第一巻 インド仏教と禅定
- 第二巻 中国仏教と禅
- 第三巻 日本仏教と禅
- 第四巻 現代社会と禅

表示の価格は全て税込

目録 呈 送

株式会社 大東出版社
〒113 東京都文京区白山一丁目一七番一〇
電話 〇三六二七
FAX 〇三六二六
〇三六二五

寺院コンピュータ見聞録

OA時代と言われて久しくなりますが、まだまだ寺院の機器合理化は一般に比べると十年程度遅れていると言われております。今から十四年前より、寺院の管理プログラムを開発し、現在、寺院専門のソフトウェアとして全国的に営業を展開しております。私も株式会社ソネットでは、現場の立場より様々な住職の方にお話を伺います。その時お聞きした色々な問題や経緯が曹青会の皆様の何らかの参考になればと思ひ、寄稿させて頂きました。

制作を開始した当初はまだ満足に漢字を駆使できない八ビットのコンピュータでした。その後ハードも一六ビットになりシステムの内容も多くの方の意見をお聞きして、懐信徒管理、戒名管理、寺院出納管理、お布施管理、会費管理、寄付金管理を組入れて完成させました。現在では三十二ビット機にて販売しております。

会計管理

システムの中に会計が組み込まれている点に多くのご住職が、どうして寺院に会計が必要なのかと幾度も質問を受けたものでした。当時の寺院の状況は、会計というものはそれほど重要ではなかったのです。東京の一部の寺院以外では殆どと言っていい位無関心でした。ましてや、寺院に税務署が来るなんて考えもしない頃でした。私もそれ以前から寺院に事務機器を導入している事業を行っておりましたが、高額な商品を買ったとしても「領収書はいらないよ」と言われたくらいでした。

そのような状況でしたので会計のシステムの重要性をいかに力説しても販売には結びつきませんでした。国税庁基本通達により宗教法人に関する税法の一部改

訂があったのもその頃で、全国に税務署からの「お尋ね」という文書が寺院に郵送され、急に会計管理に対する関心が高まり、必要性を感じる時代が到来したのです。各地で税務署の講習が開催され、全日仏から講師の先生が各地の仏教会に招かれて会計、管理の勉強が催されました。席上では「寺で賞与をどうするのですか」「家族の給与はどうしていますか」等、我々から感じますには初歩的な質問が飛び交っていました。当時の大半の寺院では確定申告さえすれば帳簿がそろいながろうが構わないといった風潮が一般的でした。しかし、具体的にどこにどの寺に税務署が入ったという情報に自分の寺はどうだろうか、ご心配なされたご住職が多かったと思われま

す。更に檀家三百軒以下の寺には税務調査が来ないと言ったデマが飛び交う地域が出たり、どこそこの寺では追徴金を数百万円とられたとか色々情報が入っていました。しかし、よく考えますとこれは少し変な話です。今、税務署が調査をしているのは収益事業の問題と、住職個人の給与が正当に取得されているかを調べている訳ですから、本来宗教法人自体の収益がいくらあろうと一般法人のように課税対象ではないはずで、寺院が正当な会計処理を行っている限りには何も問題がありません。

そこで私が各地のご住職様からのお話と税理士より知り得た範囲をまとめてみました。税務署が来る事を必要以上に恐怖とお感じになる事は避けて下さい。数年前の映画の「マルサの女」の影響のある方がおられました。映画の主人公の行っているのは査察であって、殆どの寺院に来るのは調査である事を知ってお

くべきです。ですから事前に寺院の都合を確認して来る筈です。ご自分の時間の都合に合わせて対応できる筈です。葬儀・法事・会合等の都合で二、三日後に訪問してくれと、先方の申し出を延ばす事ができます。その間に帳簿の不備を見直す時間をつくることも必要です。税務署が一番知りたいのは住職が公の金と個人の金銭をはっきり分けて帳簿をつけ会計管理を行い寺院の運営が正常に機能しているかどうか。水道光熱費は個人と寺院に分けられているかどうかを確認するでしょう。一般に寺院五十%個人五十%に分けられたら無難でしょう。このことで住職の姿勢がたいたい読み取れます。年間の五十%の負担は大きいようですが金額にしてみればそんなに高額にはならない筈です。要するに目立つ所は、はっきりさせることです。

基礎の中から住職の給与を幾らにしたら税務署が良いと認めるのかは、現在のご住職の生活レベルを一般社会に当てはめてみると、一流企業の課長・部長クラスの年収を取られている生活レベルとの見解です。ちなみに一流企業の部長は年収で八百万から一千万以上であると考えてください。

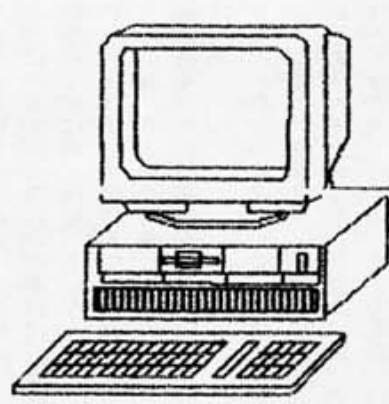
勿論、寺院の規模・地域によって異なるのです。早くからこの指導が行き届いていた東京を除いては大変な事態が発生したとの動揺が見受けられました。現在でも会計の無知により世間には寺院に対して誤解を招いているむきがあります。我々がお尋ねする寺院の大半では、「二ヶ月の会計行数がコクヨの帳簿用紙一、二枚(三十、五十行)しか使わない」と言うお答がかえってくる寺院が多いのは驚きます。これに反論のある方が多いかも知れませんが「そんなに記帳する項目はないよ」と言われる方が大半ですが、「それでは現在の帳面上の現金残高がお手元の現金と同一ですか」と質問すると、「一緒ですよ」とお答えいただく方が少ないようです。

それは、帳簿の作成で入金しか重要視していないのが原因です。出金科目の帳簿が大変少ないのです。会計にとって最も出金が重要と考えて下さい。更に「うちのお寺は税理士にお願いしているから大丈夫だよ」とおっしゃる住職も多くおられるが入金行事予定等で確認作業は容易ですが、出金の細かな記帳は自分でおこなわなければなりません。我々が会社の経費を使用した場合は電話・タクシー料金・接待費・交通費・郵送費・日当・宿泊等すべて一円単位まで領収書によって申請し、会社より支給され清算をうけるものです。このような事もふだんの記帳がいかに重要であるかという事を如実に物語っております。夕食のおり会計担当の奥様から、コクヨの入金伝票と出金伝票に本日の金銭の入出を思い出している記帳の習慣が重要なのです。毎日の記帳が不可能でしたら、なるべくレシートだけでも保管してください。初歩的なことを言っているとお叱りを

受けると思ひますが、私の体験ですが古くから納入させていたでいてはいる地方の住職によく酒の席にご招待いただく機会が多くあります。ご馳走していただくに帰りにレジで支払をすませる時に、どの住職も領収書ももらうことはありません。こんな時によく申させていただきます。これは、「先生、領収書を貰ってくださいよ、私も寺の業者ですから接待費で落とせるのですよ」と言いますと、ある住職は「宛名はと言われ、〇〇寺なんていえないよ」と答られます。「宛名は無しとか、上様とかでいいのですから」と申させていたでいておられます。勿論住職としての体裁も必要ですが、どの寺の住職も個人としての出金が多く

都市部	檀家数×50,000円=年間寺院収入
農村部	檀家数×30,000~40,000円=年間寺院収入
東京都及び近郊は	檀家数×70,000円=年間寺院収入

現在では税務調査も全国的に広がって、税務署側も数年前に寺院に関する統計がでると聞きます。税務署の見解の寺院の収入は上記の通りです。このような基準で見ていると言われている。東京の金額の多いのは塔婆収入があるからで、勿論他の収益事業があればこの金額より多くなります。こんな収入が無いとか、これより多いとかのご意見はあるでしょうが、この



あり「この位は良いだろう」といった積み重ねが記帳残金と手持ち現金の差額が出る原因です。一般の商店が行っている会計の状況が今こそ寺院でも必要な時がきていると認識いただくことにより寺院会計がスタートするとお考えください。

このような面倒な作業もコンピュータでは簡単に処理できることを次回から細かくお話させていただきます。

株式会社 ソネット
石川 謙

寺院総合管理システム

対応機種	
松下版 (Panacom M)	NEC版 (PC9801シリーズ)
富士通 (FMR)	リコー版 (マイツール)
シャープ版 (MZ-6556)	日立版 (E-32)
*その他の機種も取り揃えておりますのでご相談下さい。	

基本ソフト

- 1 懐信徒管理
- 2 霊名簿管理
- 3 寺院会計管理
- 4 会費・布施管理
- 5 寄付金管理

(その他取扱品目) パソコン・ファックス・ホームテレホン・コピー

本社 〒102 東京都千代田区九段南3丁目7番12号 TEL 03-3288-1313 (代表)

東京営業所 〒102 東京都千代田区九段南3丁目7番12号 TEL 03-3288-2680 (代表)

福岡営業所 〒800 若手県福岡市中央区2丁目2番5号 TEL 0106-23-0291 (代表)

千葉営業所 〒260 千葉県千葉市美浜区5丁目13番3-108 TEL 0472-79-0416 (代表)

大阪営業所 〒541 大阪市中央区南船場3丁目1番7号 TEL 06-245-2229 (代表)

倉敷営業所 〒712 岡山県倉敷市連島1丁目18番12号 TEL 0864-49-0201 (代表)

宮崎営業所 〒980-4 宮崎県西諸県郡高瀬町大字後川内1183 TEL 0984-42-0700 (代表)

ソネットのパソコン・ソフトヘルパー和尚さん

◆全国各地納入時指導◆

sonet 株式会社 ソネット

情報管理から会計事務まで...
寺院管理のすべてを引受けます

実施中!

現在帳・過去帳の整理および入力代行